

LOCAL INNOVATOR



わたしは、
地方創生
推進士です

地方創生推進士をもっと知るための地方創生推進誌



取得するには？

地方創生推進士育成科目を1st phaseから4th phaseまで修得
各phaseに配置された地方創生推進士育成科目(正課・準正課)を各phaseの必要単位分修得します。



称号取得のための申請は、
次世代地域創造センターへ

- 履修状況を確認
- 必要書類を案内
- 面接

地方創生推進士称号授与

称号取得者には認定書と推進士の証となるバッジが授与されます。



「地方創生推進士」とは
地域への深い理解と愛情を
証明する称号です。

さまざまな課題をかかえる高知県に必要なのは、地域生活や文化、産業を担い発展させていく「革新力」を持った人材です。そこで高知大学は教育プログラムを整備し、地域への理解と愛情を深め地域で働きたいという志を持った学生を育成し、「地方創生推進士」として認定※しています。地域の課題と向き合ういろいろな活動プログラムを、「地方創生推進士」育成科目として位置付けています。

地域社会への理解を深め課題解決に取り組んだ証として、そしてそのプロセスで育んだ「革新力」を証明するための称号が地方創生推進士です。

2020年12月現在までの地方創生推進士の数

➔ 113名



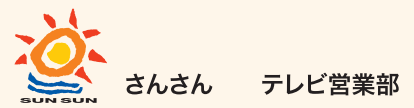
※平成27年度文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+)として高知大学が代表校となり、「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」事業を進めてきました。「地方創生推進士」認定制度は、この事業の一環で創設されました。

わたしは、
地方創生
推進士です
「國元さん」編



國元 愛優さん
高知さんさんテレビ 営業部
高知大学 人文学部
国際コミュニケーション学科
2018年卒業

インターンシップの中で実感したり
気づいたことが、今の会社を選んだ
きっかけになっています



チホウ、ノウセイ スイシンシ トーク

地方創生推進士の
國元愛優さんは、
高知さんさんテレビに就職。
資格のメリットや仕事に
活かせる点などについて、
上司の岡田敏久さんと
語りました。



岡田 敏久さん
高知さんさんテレビ
営業局次長

学生時代にいろんな経験をした人は、
社会人として必要な
コミュニケーション能力が高い気がします

インターンシップでは 新しいキャンペーンを提案

岡田 國元さんは当社が初めて採用した「地方創生推進士」。この資格を取得しようとした動機はなに？
國元 大学1年生の時から、留学生と学生、地域をつなげる活動を行っている学生団体「国際茶屋」に参加していました。四万十町の米奥小学校で大運動会を開催し、本山町や黒潮町のイベントなどにも参加するなか、地方創生推進士のことを知りました。卒業後は高知で就職し、高知を盛り上げたいという思いがあり、就職活動で有利だとも思ったので取得しました。

岡田 地方創生推進士の資格はどうやったら取れるんだろう？
國元 18単位の教育プログラムを履修し、地域での実習やインターンシップなどを行うことで取得できます。私の場合、取得しようと思ったのが3年生の夏くらい。卒業まであと1年半ほどしかなかったので、急ピッチで頑張りました。

岡田 インターンシップについては、國元さんはどういったところに入ったの？
國元 地域の課題解決に取り組んでいる教員に同行し、地域活性化を学ぶUBCインターンシップに参加しました。当時私が友達と始めたSNSで多くのフォロワーを抱えていたこともあったので、その経験を活かし、UBCの岡村先生と黒潮町役場のSNSを使った活性化に取り組みました。

岡田 具体的にはどんなことに取り組んだの？
國元 出稿をいただく業務に就いている。クライアントから「元氣印の子」と言われて頑張っているが、日々の業務のなかで、地方創生推進士の資格はどう役立っているだろう。
國元 資格取得に向けたいろいろな勉強や実践、体験がとても役に立っています。例えば、黒潮町の経験から、SNSの効果的な発信の仕方などをアドバイスできます。でも、地方創生につながっているかといえは、まだ自信はありません。

岡田 地元企業の広告の予算を預かるということは、そのクライアントさんの商売がうまくいき、潤うことにつながるわけだ。いまの仕事も、地方創生に寄与していると十分いえると思うよ。自分でも資格を取って良かったと思っているんだよね？
國元 もちろん、そうです。学んだこと以外に、地方創生推進士という名前自体も面白いので、自分に興味

り組んだの？

國元 当時の黒潮町役場ではInstagramを使った広報活動を始めようとしていたので、役場のSNSをGoogleアナリティクスで分析したり、ハッシュタグを使った新たなキャンペーンを提案させてもらったり。やっていくうちに、だんだんと行政機関と民間企業の違いも理解できるようになりました。

岡田 とてもいい経験をしたようだね。インターンシップについて、学生にひとつアドバイスをするとして、企業に受け入れてもらっていることを感謝しながら、学生目線で企業を評価する場にしてほしい。経験すればするほど、気づきの大きなチャンスになると思う。

資格取得に向けた 学びや体験が大きな財産に

岡田 地方創生推進士の資格取得に向けて、地域のことを様々な面から学んだ國元さんが、高知さんさんテレビというメディアで働こうと思った理由は？
國元 UBCインターンシップで黒潮町役場と協働させていただき、SNSの可能性をすごく感じました。しかし、マスメディアの力はまだまだ大きい、ということも改めて実感したんですね。そこで、高知で頑張りたい人をもっと広い層に発信したい、と思って入社しました。

岡田 國元さんは入社して2年目。営業部に配属され、コマースの

を持つてもらおうきっかけになっています。
岡田 地域活動に関与してみよう、と思うこと自体が大事だろうね。資格取得に向けた過程のなかで、社会人として最も必要とされるコミュニケーション能力も高まっていくはずだ。高知大学がこの取り組みに力を入れてるのは素晴らしいと思う。高知大学の学生さんには大いに期待しています。

國元 私の後輩の学生たちに向けて何かアドバイスをいただけませんか？
岡田 先輩や上司から言われることが絶対に正しいわけではない、と思うのがおススメ。あくまでも話や指示をきちんと聞いたうえで、自分の意見を言い、行動するような仕事のやり方を目指してほしい。若い人ならではの発想を、私たちも大事にしたいと思っています。



企業のPR活動を学ぶ
(社長インターンシップ)



経営者向けセミナーに参加
(社長インターンシップ)



CMスケジュールの打ち合わせ

わたしは、
地方創生
推進士です
「岡上さん」編

自分をアピールする ための強い材料に なります

不動産会社 エイブルネットワークのファースト・コラボレーションに入社した岡上あさひさん。
地方創生推進士になろうとした動機、取得に向けた活動内容、資格のメリットなどを語ってもらいました。

「地方創生推進士の資格を
なぜ取るうと思いましたか？」

価値観の違う人と協力して何かを作ったり、提供したりする「協働」に興味があり、地域協働学部に入りました。入学後、地方創生推進士の資格を先生方から繰り返しすすめられ、興味を湧いてきました。社会に出たあと、資格によって自分をよりアピールできるのでは、「コミュニケーションを取るうえで何かの糸口になるのでは」と考え、取得することにしました。

「履修した授業のなかで、
特に印象に残っているのは？」

毎回、中小企業の社長や社員さんが講師になってくださる「高知の中小企業を知る」という授業ですね。高知のことや仕事の内容など、興味深いお話を聞かせていただいて、とても勉強

になりました。講師を受けてくださるのは、地域活動や学生の考え方に心があがるからなのでしょう。こうした会社に就職すれば、地域に根差して、住民を大切にできる仕事ができるのではないかと、思うようになりました。

「SBI（人間関係形成インターンシップ）で学んだことは何ですか？」

学科や学年がバラバラの3人1組で3週間行う準正課、SBIのインターンシップも履修しました。高知市のホテルで、1週目はベッドメイキングなどの清掃、2週目はホテルのフロント業務、3週目はレストランや宴会などの料飲部門を体験させていただきました。取り組むなかで協働やチームワークの重要性を学ぶことができ、いい経験になりました。

「CBI（長期社会協働インターンシップ）で学んだことは何ですか？」

選択科目のインターンシップにはCBIもあります。学生が業種や地域などを希望し、受け入れてくださるところに行くというものです。それまで地域協働学部の実習を通じて、仕事をリタイヤされた方、子育てが落ち着いた方などが地域活動に向かうことを知ったので、そういった方が活躍できる仕組みを学びたいと思いました。また、地域活動を行うなかで、高齢者の方とかかわることが多いので、自分なりの死生観を持っておきたいとも。そうした希望を出して、横浜市の葬儀会社をご紹介いただき、3か月ほど長期のインターンシップを行いました。

葬儀やお通夜、終活セミナー、会社に親しみをもちてもらうために催すイ

ベントなどを体験させていただき、本当に勉強になりました。死と向き合ったことにより、いつ何が起るかかわからないことを実感し、家族を一層大切にしたい、地域の人たちとお付き合いも大事にしなければ、と思うようになりました。

「入社する会社を選んだ
決め手を教えてください」

会社を訪ねたとき、社員さんがキラキラして、楽しそうに仕事をしているのがとても印象的で、ああ、ここで働きたいと思いました。会社の利益を超えて、地域の活動に協力する会社でもあり、こうしたところも自分のマイノリティと一致しました。
じつはCBIの中で、「仕事とは何か」という課題を出されたとき、インタビューを引き受けてもらったのがいまの会社なんです。

「地方創生推進士の資格は
仕事で活かされていますか？」

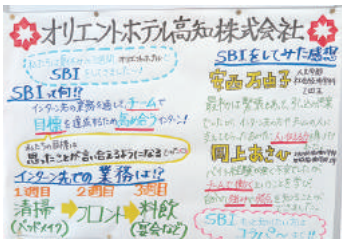
資格を取る過程のなかで、「コミュニケーション能力が高まったと実感しています。人と上手に接することはどの仕事でも必要でしょうが、お部屋探しの仕事の場合、潜在的な要望も引き出さなければいけないので、「コミュニケーション能力はことさら重要なんです。また、職場は年齢や価値観の違う人の集まりなので、チームワークの重要性を学んだことも活かされています。

「仕事をすすめるうえで、
今後の目標は何でしょう」

いまは目の前の仕事をこなすので精一杯ですが、いずれはもっと地域に根差したイベントや活動をしたいと思っています。仕事に自信がつき、気持ちに余裕がきたら、制服に地方創生推進士のバッジをつけて、この資格のことを広くアピールしたいですね。

「在学生に向けて、
アドバイスをお願いします！」

地方創生推進士の資格を取るための学びは、私には良いことしかありませんでした。本当に自信になるので、ぜひ取得してほしいですね。チームワークやプレゼンテーションの仕方、目上の人との接し方などが身につくので、地域に興味がない人にもおすすめです。自分をアピールするための強い材料になるはずです。



SBIで作成した「SBI新聞」



お世話になった企業関係者の方を前に、
SBIでの学びを発表



店頭で、お客さまに物件のご案内



岡上 あさひさん
ファースト・コラボレーション 南国店
高知大学 地域協働学部 地域協働学科
2019年卒業



専門的な学びに加えて、 高いコミュニケーション能力に期待

川竹 来年度、高知大学からの採用はありますか。
坂口 理工学部から2名を採用し、いずれも開発部に配属予定です。
松浦 開発部では歯科材料の分析と設計を行っています。いま弊社は有機材料に力を入れていて、有機化学の素養のある学生が入社後活躍しています。
川竹 入社した若い人材は、どのように育成されているのでしょうか。
坂本 能力のある人材は、早々に大学院に行ってもらいます。教科書だけではわからない、生きた学問に触れて成長し、周りにもっと勉強しなければと、好影響を与える人材になってもらうのが大きな目的です。
川竹 高知大学では専門の学びとは別に、地域に触れ、交流を経験する学生を地域創生推進士として認定しています。こういった人材に対する期待はありますか。
坂本 地域の人と縁をつないで、いろいろな取り組みをするという経験は、大変素晴らしいと思います。弊社は中小企業なので、有機化学しか知らないでは済まされたい。ほしいのには周りにバリエーションを張らず、自分の能力を限定しないで、いろいろなものを取り込んでいける人です。また、弊社で

幅広い多世代との交流の経験は、 どんな仕事をするうえでも役立つはず

川竹 高知大生の採用状況を聞かせてください。
山本 2019年1月のJA高知県発足に合わせて、過去2年間、全県下で採用してきました。高知大学からの採用は計8名で、農林海洋科学部が多いですね。入組式で新採用職員代表挨拶をしてもった新人もいます。
川竹 高知大学では地方創生推進士の育成に取り組んでいます。この資格を取得した人材について、期待するところはありますか。
大坪 私たちは農業を中心とする地域密着の組織です。なかでも郡部に行く、人とのかわり具合の温度が高いので、地域の人と交流した経験があるというのは、非常に大きなメリットになります。特に近年、面接をして強く感じるの、年齢の異なる多世代と交わった経験の少ない人が多いということです。家族もいまでは核家族が多いですね。幅広い世代と交流した経験は、仕事をするうえでとても役に立つと思います。
川竹 私は地方創生推進士の取得を希望する学生と面談をします。取得に向けた学びを経験し、こがが変わったかの質問に対して、県外出身の学生が、帰省したとき、近所の人に話しかけるようになったそうです。家族からは、こういった子ではなかったのに、と言われたとのこと。これも多世代との交流の経験が活かされたということでしょう。
西内 こうした経験があれば、JAに入っても、活躍の場はたくさんあると思います。例えば、営農指導員は、生産者を訪問し、コミュニケーションを取るのが最も大事です。地域を巻き込んだイベントも多いので、こうした場でも体験で得たことを発揮できます。また、店舗で対応する職員も、組合員さんとのコミュニケーションは基本です。どの場面でも大いに活躍できるでしょう。
大坪 事務職にしても、職場のなかのコミュニケーションが重要です。JAに限らず、どの企業のどの職種でも、コミュニケーション能力は高いものが求められると思います。
山本 地方創生推進士の方は、地域と交流する経験のなかで、いろいろなることを考え、たくさん知識を得て、自分で考えたことを発信し、行動する力が一般の学生さんよりも優れていると思います。そういった思考力や発信力、行動力によって、即戦力として活躍できるのではないのでしょうか。
川竹 地方創生推進士というのは、就職活動の際に履歴書に書ける資格だと学生に伝えていますが、様々な経験をされているので、面接で掘り起こしていただければ

は高知大学医学部さんなどと一緒で、地域医療を守っていく取り組みをしています。こうした事業で、コミュニケーションの縁をつなぐ役割をしてもらうのもいいかもしれません。
松浦 地域に入って話を聞き、課題を抽出し、解決に向けて動く。こうした経験により、汎用性の高い能力が身につくのではないのでしょうか。加えて各企業の専門的な部分とマッチすれば、活躍できる人材として期待を寄せられそうです。
坂口 様々な年齢層の方と関わる機会が多いのは、大きなポイントだと思えます。そういう経験を積んでいる学生ほど社会で活躍する傾向がありますので、企業側の期待値も大きくなるでしょう。あまり経験できない取り組みなので面白いですね。
川竹 ありがとうございます。学生に対して、ほかにこういったことを学んでほしい、身につけてほしい、というメッセージをいただければ。
坂本 日本語を大切にしたいですね。会社に入ると、実践しポートや申請書など、様々な書き物があり、すべて書き方や言い回しが違います。私たちが日本語の難しさは痛感しています。逆にいえば、日本語が書ける人材はどの企業でもほしいと思います。

西内 アルバイトやサークル活動も含めて、学生のときに、いろいろな面で積極的に活動しておくことは大切でしょう。こうした経験が、周りを引っ張っていきける人に成長させる近道ではないのでしょうか。
大坪 採用する側としては、短い時間の面接やペーパー試験に頼らざるを得ない。地方創生推進士の資格が履歴書に書かれてあれば、地域のわかるので、就職活動では業種を問わず有利だと思います。
西内 アルバイトやサークル活動も含めて、学生のときに、いろいろな面で積極的に活動しておくことは大切でしょう。こうした経験が、周りを引っ張っていきける人に成長させる近道ではないのでしょうか。
大坪 採用する側としては、短い時間の面接やペーパー試験に頼らざるを得ない。地方創生推進士の資格が履歴書に書かれてあれば、地域のわかるので、就職活動では業種を問わず有利だと思います。



坂口さん 坂本さん 松浦さん



西内さん 山本さん 大坪さん

県内企業約50社にアンケートしました!
企業のホンネ
 提供元: 学生空間「One Step」

Q1 高知大学生のイメージ

1位 活動的 (26票)
 ・地域貢献や地域活性化に対して意欲的な意識を持って活動している学生が多い。
 ・元気があふれる！熱い！
 ・活気があり、様々なことに挑戦している。

2位 真面目 (18票)
 ・非常に真面目で優秀な印象。
 ・説明会ではよく質問を受けけることも多く、真面目さと熱意を感じます。

3位 地元愛が強い (17票)
 ・高知のことが好きな人が多い！

Q2 就職までに身につけて欲しいこと

多種多様な経験
 ・卒業するまでにより多くの人と出会い、話をし、視野や価値観を広げて欲しい。
 ・自分の興味関心があることについて積極的に行動してください。思わぬところで役に立ちます。

コミュニケーション能力

・仕事上、色々な方とコミュニケーションをとる必要がある。
 ・あるので、幅広い年齢層やジャンルの方と交流することによって慣れて欲しいです。
自己分析
 ・自分のできることや魅力などを客観的に捉えることで自信に繋がります。

その他
 ・基本的なPCスキル
 ・プレゼン能力
 ・マナー 等

Q3 社会人にとって大切なこと

学び続けること
 ・多くの人と接する中で、自分にとって大切なことは何かを学び、判断すること。

協調性
 ・常に会社というチームで動くためまずは自分の役割を果たす気持ちが大変重要です。

チャレンジ精神
 ・自ら学ぼうとする姿勢や考える意識を持つと、周りとの成長スピードが変わってくると思います。

その他
 ・柔軟な発想力
 ・計画性

01

就職希望の業種
公務員
(県庁・市町村)



農林海洋科学部
農林資源環境科学科
横佐古 優太
Yuta Yokosako

● 取得を目指す君へ

『地域というフィールドに飛び出そう』

Q.資格を取ったきっかけ

野生動物に興味があった私は、高知の中山間地域で野生動物との軋轢(鳥獣被害)が起きていることを知り、その問題を解決するために地域自体のことを知らなくてはと思うようになりました。そこで地域に関わる実習を取り、もっと地域に深く入りたいという思いから、地方創生推進士になろうと思いました。



Q.印象に残った活動

「土佐の懸橋ハンプロ」という狩猟団体を仲間と共に立ち上げました。ハンプロは狩猟を中心とした活動を行い、学生が少しでも地域の獣害対策に貢献することを目的としています。地域の農家さんに、「猟師が減っていく中、若い者が狩猟をやってくれて助かる」と声をかけてもらった時は、とても嬉しかったです。



Q.後輩へメッセージ

高知県は全国で一番、中山間地域のことを現場で学べる場所だと思っています。地域で活動する中で、様々な課題に触れ、自分が情熱を懸けて取り組みたいことも発見できました。それが地方創生推進士の取得にも繋がっています。4年間、大学の中だけにいるのもったいないです。ぜひ地域という広大なフィールドに飛び出してみてください！

02

就職希望の業種
建設関係



地域協働学部
地域協働学科
矢野 光孝
Mituyoshi Yano

● 取得を目指す君へ

Q.資格を取ったきっかけ

地方創生推進士の第一印象は、学部のカリキュラムを消化するだけで取得できるおいしい資格というものでした。特段何に役立つとか、何のために取るといった崇高な志があったわけではなく、「ネームバリューとして遜色はないな」という思いから資格取得に踏み切りました。



Q.企業を選ぶ決め手

私は大学を通さず有償インターンという形でまず会社に入り、春休みは毎日通っていました。年度末は繁忙期になる業種で残業も多いですが、それ以上に上司や先輩社員に魅力的な人が多かったため、この職場で働きたいと決意しました。

Q.後輩へメッセージ

「年上の人と失礼のない程度に砕けた会話ができる」スキルは重要です。就職すれば、右も左もわからない状態からのスタートになります。仕事でわからない点を、聞くべき時に聞くべき人に尋ねる等、仕事の上で欠かせない技術であり、様々な場面で役立ちます。



● 取得を目指す君へ

『コミュニケーションスキルをつける』

● 取得を目指す君へ

『興味あることにどんどん挑戦しよう』

Q.資格を取ったきっかけ

先輩がジャケットにつけていた地方創生推進士のバッジがとてもカッコよく、私も欲しいと思ったことがきっかけでした。また、自分を売り込む際の強力なPRポイントになると考えたことです。これをきっかけに、大好きな高知の良さを県外の人に発信したいと思っています。



Q.印象に残った活動

土佐の日曜市で学生ボランティアとして活動したことです。代表として団体の存続について頭を抱えていたときに、出店者や関係者の方から言われた「君らがおってらわな困る」という言葉を貰った時が一番嬉しく、また使命感を感じた瞬間でした。たくさんの失敗と体験ができ、成長させてもらいました。



Q.後輩へメッセージ

地方創生推進士を目指すということは、すなわち困難に立ち向かい自分に挑戦することです。高知の大学生にしかできない体験や挑戦がたくさんあります。どんな失敗も必ず糧になるので、物怖じせず興味の向くことには挑戦して、大学生という貴重な時間を乗り多めにしてください！

地方創生 推進士 / 在学生にインタビュー

● 取得を目指す君へ

Q.資格を取ったきっかけ

サークルの先輩から、地方創生推進士を勧められたことがきっかけでこの資格を知りました。高知に密着したプログラムが組まれていること、さらにプログラムで学んだことが資格という形として残ること、この2つに魅力を感じ地方創生推進士の取得を目指そうと思いました。



Q.企業を選ぶ決め手

やはり自分が働いているイメージが持てる企業です。まず自分がどんな働き方をしていきたいかを考えることが重要だと思っています。私は始めに高知県内の企業を見て自分が望む働き方の傾向をつかみ、自分の軸と照らし合わせながら、働いている想像ができる企業を探して就職活動に臨みました。

Q.後輩へメッセージ

この資格を取得していく過程で、パワー溢れる高知の人たちに出会えたことが一番良かったです。それぞれ熱い思いを持って活動されている人たちから色々な話やアドバイスを頂いたおかげで、自分は将来どんな思いで何がしたいのかを見つめ直すことができ、就職活動などで自己分析をする時にも役立ちました。



● 取得を目指す君へ

『人との関わりで自分を知る』

03

就職希望の業種
ソフトウェア関係



理学部
応用理学科
村上 郁哉
Fumiya Murakami

04

就職希望の業種
教育関係



人文社会科学部
人文社会科学科
武江 美洋
Mihiro Takee

お問い合わせ先▶ 高知大学 次世代地域創造センター
〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47
TEL:088-844-8293 FAX:088-844-8556

次世代地域創造センターでは、地域社会の多種多様な課題の解決を目指して、中核人材のキャリア形成および地域プロジェクトの社会実装を推進します。

<http://www.kochi-u.ac.jp/cersi/>

